

省エネ塗料で温暖化ガス排出を抑制

インドネシア 太陽光反射で電力消費量を抑える

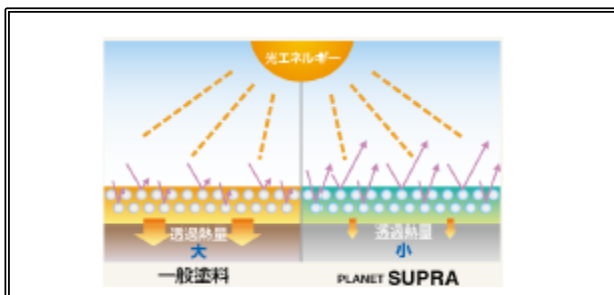
国際協力機構(JICA)は6月30日、「中小企業海外展開支援事業～基礎調査～」においてSCI-PAINT JAPAN 株式会社(東京都新宿区、田端伸行代表)が提案する「遮熱塗料の活用を通じたCO2削減事業にかかる基礎調査」(インドネシア共和国)を採択しました。

インドネシアでは、原油価格の上昇や急激な経済成長、人口の増加などから、電力を特に使用する空調機器の普及に伴うエネルギー需要の拡大により、火力発電による石炭消費が拡大し、温室効果ガス(以下、「GHG」)排出量が増大しています。こうした現状に対し、CO2やGHG排出量の抑制へと導くことを可能とするのがSCI-PAINT JAPAN(株)の遮熱塗料「PLANET SUPRA」です。

「PLANET SUPRA」は、施設や工場、住宅、その他建築物の屋根や壁に塗布することで、94.6%の高い反射率で太陽光を反射させ、建物内の室内温度の上昇を抑制します。その結果、空調機器に対する電力消費量を削減することで、CO2やGHG排出量への抑制へと導くことが可能となります。



遮熱塗料「PLANET SUPRA」



太陽光を反射

本基礎調査は、現地インドネシアにおいて、民間企業と公的機関の所有する建物において「PLANET SUPRA」を塗布して電力消費量の削減データを収集し、初期導入への経路を策定するものです。

本調査は、我が国の中小企業を対象とした「中小企業連携事業～基礎調査～」として実施されます。本スキームは、優れた製品や技術力を有する中小企業が途上国に進出することによる開発課題解決の可能性及びODA事業との連携可能性を検討するためのもので、検討に必要な基礎情報の収集と海外展開事業計画の策定を目的としています。2016年度は本年2月に第1回目の公示を行い、41件の応募のうち12件が採択されました。今後の契約交渉を経て契約に至ったものから、順次調査を実施します。

参考:(プレスリリース)基礎調査 2016 年度第 1 回公示の採択結果について

URL:<http://www.jica.go.jp/announce/notice/fs/index.html>

【本件に関する問い合わせ先】
JICA 国内事業部中小企業支援調査課 長富 (案件担当)、橋本 (広報担当)
TEL 03-5226-3243 e-mail : pdvfs@jica.go.jp